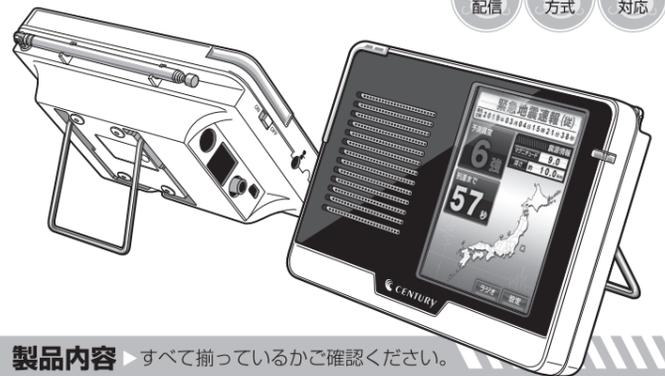


# 取扱説明書

型番：JMB-AS\_P  
高度利用 配信 端末演算 方式 PLUM法 対応



製品内容 ▶ すべて揃っているかご確認ください。

- ① 地震の見張り番 @school 本体
- ② 取扱説明書（本書）
- ③ ACアダプター付ミニUSB電源ケーブル
- ④ 接点ケーブル
- ⑤ 外部接続FMアンテナ
- ⑥ 壁掛け金具
- ⑦ 壁掛け金具用ネジ×4

この度は「地震の見張り番@school（JMB-AS\_P）」を採用していただき、誠に有難うございます。この「地震の見張り番@school」はインターネットに常時接続した状態で緊急地震速報を受信して、予測震度・到達秒数・マグニチュード・震源の深さ・震源地を画面上に表示し、予測震度・到達秒数は音声でもお知らせします（配信期間は5年間）。ご使用前に必ず本説明書をお読みいただき、地震が発生した際には速やかに対応できるようご活用ください。

## 株式会社 センチュリー | CENTURY CORPORATION

### 免責事項

本製品の保証について、以下のような場合には対象外となります

- 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷の場合。
- 事故などの外部要因に起因する故障および損傷の場合。
- お買い上げ後の輸送や移動などにおける落下や衝撃など、お取り扱いが適当でないために生じた故障および損傷の場合。
- 接続している他の機器に起因して生じた本製品の故障および損傷の場合。
- 特定機種でのみ発生する動作不良等（相性の問題）の場合。
- 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷の場合。
- 改造、またはご使用の責任に帰すると認められる故障および損傷の場合。
- 正常なご使用において消耗品が自然消耗や摩耗などした場合。

※上記の内容に定めのない項目、または入札仕様書、および保守契約書の解釈に疑義が生じた場合には、入札仕様書および保守契約書を優先いたします。

## 1 ご使用になる前に

- 本製品はインターネットに接続されていないと、緊急地震速報を受信することはできません。詳細は4項《ネットワークについて》をお読みください。
- 本製品の緊急地震速報発報機能は緊急地震速報電文を受信し、ご利用場所への震度と到達秒数を瞬時に予測演算して通知を行うものです。
- 従来法とPLUM法の両手法での予測震度を比較（両手法をハイブリッド）して、大きい方の予測を通知するものです。詳細は7項《PLUM法について》をご参照ください。
- 緊急地震速報とは、地震情報をすばやくキャッチし強い揺れが始まることを数秒～数十秒前にお知らせする情報です。
- 緊急地震速報のシステム上、警報が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたり、誤報を受信する場合がありますので、予めご了承ください。また、震源の深さが150kmを超える深い場所で地震が発生した場合は、誤差が生じる可能性があります。なお、本製品では発報する／しないを選択できる設定項目を設けています（6項《発報設定》をご参照ください）。設定変更の際は緊急地震速報管理センターへご連絡ください。連絡先は17項《緊急地震速報に関するお問合せ》に記載しています。

つづき

- 本製品は大津波警報・津波警報・津波注意報と噴火警報も受信して通知できます。津波情報に関しましては津波被害の影響が出ると予想されたエリアに対し発報します。噴火情報に関しましては気象庁が選定した日本全国の活火山が対象となり、噴火警報レベルが4以上の場合のみ通知します。※噴火情報の詳細は気象庁のWEBサイトにてご確認ください。
- 本取扱説明書に記載されているイラストや画像は実際のものとは多少異なる場合があります。予めご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。

## 2 使用上のご注意

- 本製品はお客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の命や財産を守るためのものではありません。
- 実際に地震が発生した時のために避難訓練などを行い、日頃から地震対策を充分にしてください。
- 緊急地震速報のサービスはお客様への情報を提供するサービスであり、弊社および販売店は使用によって発生したいかなる損害（気象庁データを含め速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない）に対する一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 住所移転などで設置場所を変更される場合は、必ず弊社にご連絡ください。設置場所の各種情報（緯度・経度・地盤増幅度）が変わってしまいますので、予測数値に誤差が生じます。連絡先は、17項《緊急地震速報に関するお問合せ》に記載しています。
- 本製品は一般事務や家庭用などの一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途とは、次の【内】の例のような極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命や身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力施設における核反応制御 / 航空交通管制 / 大量運送システム  
における運行制御 / 生命維持のための医療機器 など

## 3 安全上のご注意

この項に記載しております警告表示・注意事項には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでいますので、必ずご理解のうえ守っていただきますようお願いいたします。

**警告** 以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。

- 煙が出る・異臭がする・異音がする・煙が出るときは、すぐに本製品から電源ケーブルを抜き、コンセントプラグからACアダプタを取り外して、弊社までご連絡ください。
- 本製品を分解したり、改造しないでください。火災や感電の原因となります。
- 本製品の隙き間から内部に異物や水分が入った場合は、すぐに本製品から電源ケーブルを抜き、コンセントプラグからACアダプタを取り外して、弊社までご連絡ください。
- 台所や風呂場など湿度の高い場所や水気のある場所では使用しないでください。
- 不安定な台の上や傾いた場所に本製品を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となります。また、そのまま使用されると火災の原因になる恐れがあります。
- 本製品の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を超えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら電源コードには触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 濡れたままの手で本製品に触れないでください。感電や故障の原因となります。

**注意** 以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害のない物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

- 台所・ガスレンジ・フライヤーの近くなど油煙がつきやすい場所に設置すると、火災や感電または故障の原因となります。
- 浴室・温室・台所などの湿度が高い場所、雨や水しぶきの掛かる場所に設置すると、火災や感電または故障の原因となります。
- 常に5℃以下になるところや低温な場所、40℃以上の高温になる場所に設置すると、火災や感電または故障の原因となります。
- 有機溶剤を使用している場所、腐食性ガスのある場所、潮風の当る場所に設置すると、火災や感電または故障の原因となります。
- 金属粉・研削材・小麦粉・化学調味料・紙屑・木材チップ・セメントなどの粉塵や埃が多い場所に設置すると、火災や感電または故障の原因となります。
- 機械加工工場など研削油・切削油が立ち込める場所に設置すると、火災や感電または故障の原因となります。
- 食品工場・調理場などの油・酢・揮発したアルコールが立ち込める場所に設置すると、火災や感電または故障の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電源ケーブルを外してから保管してください。
- 本製品を移動させるときは接続されているケーブル類をすべて外してから行ってください。
- 小さいお子様が本製品に乗ったりしないようご注意ください。
- 本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤作動や故障の原因となります。

## 4 ネットワークについて

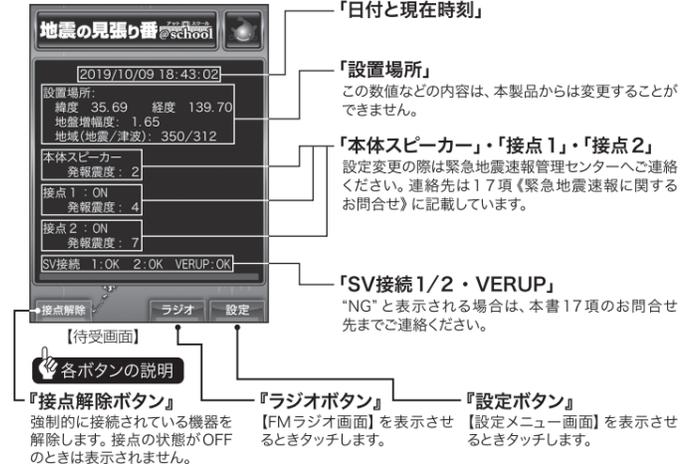
- ダイヤルアップ以外のインターネット常時接続回線に接続してください。
- インターネット回線が混雑している場合は受信が遅延することがあります。
- ルーターの設定で、out boundのTCP80（ファームウェアの更新に利用）およびTCP9001ポート（地震速報に利用）が開放されている必要があります。

つづき

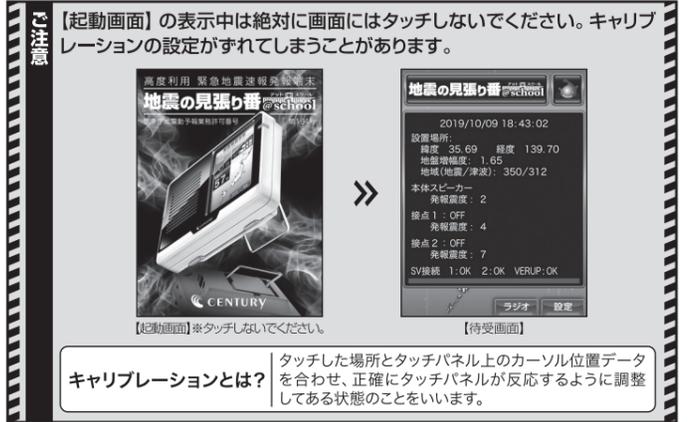
- 無線LANの場合は信号の状態により受信できない場合があります。
- ファームウェアの更新のみプロキシサーバー経由でのアップデートが可能です。
- 弊社では、気象庁が平成23年4月に発表した《緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能および配信能力に関するガイドライン》に基づき、大阪データセンターが有事などの場合は、東京データセンターに接続が切り替わるよう、本製品の冗長化やサーバー端末間物理回線の冗長化を実施しています。

## 5 待受画面のご説明

本製品は電源が入ると、まず【起動画面】が数秒間表示され、その後【待受画面】が表示されます。この【待受画面】が本製品の基本画面となり、中央の枠内には「日付と現在時刻」、弊社サーバーに登録されている「設置場所」、「本体スピーカー」と「接点の状態」、が常時表示されます。



本製品の液晶画面は省電力のためと焼き付きを保護する目的で、画面にタッチしないまま一定時間経過すると自動で画面が暗くなる（ブラックアウト）ようになっています。再度、タッチすれば画面は元の状態に戻りますが、【設定メニュー画面】のまま一度ブラックアウトすると、次にタッチしたときは【設定メニュー画面】ではなく【待受画面】になることがあります。



## 6 発報設定

本製品は設置工事の際、お客様のご要望に合わせて緊急地震速報・津波情報・噴火情報、それぞれの発報に関する設定を行わせていただきます。  
※設定変更の際は緊急地震速報管理センターへご連絡ください。連絡先は17項《緊急地震速報に関するお問合せ》に記載しています。



報知の優先順は以下となります。

- ① 緊急地震速報 >> ② 津波情報 >> ③ 噴火情報

つづき

### 【全般設定・本体スピーカー発報設定】

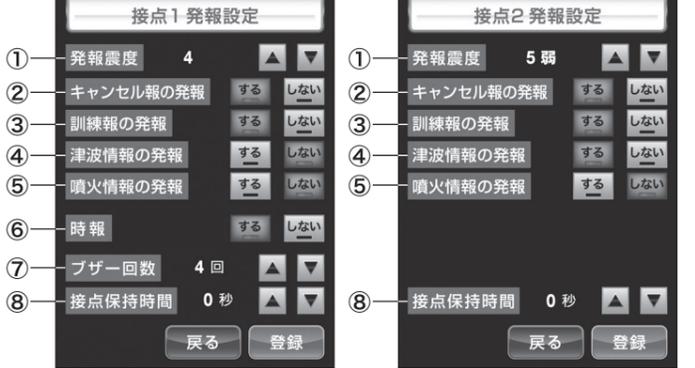
発報に関する全般的な設定、および本体正面にあります5cmスピーカーからの発報に関する設定を行うことができます。「カーソルボタン」・「する／しないボタン」をタッチして設定してください。



- ①「発報時間帯指定」  
本製品からの発報を行う時間帯を指定するか設定できます。
- ②「発報開始」  
「発報時間帯指定」で「する」を選んだ場合、その開始の時刻を1時間単位で設定できます。
- ③「発報終了」  
「発報時間帯指定」で「する」を選んだ場合、その終了の時刻を1時間単位で設定できます。
- ④「曖昧モードの使用」  
予測される震度と到達までの秒数を、曖昧な表現に変更してアナウンスするよう設定できます。震度は「1～3の場合＝「弱い揺れの地震が来ます」、・「4～6弱の場合＝「強い揺れの地震が来ます」、・「7～9の場合＝「非常に強い地震が来ます」、・「10以上の場合＝「非常に強い地震が来ます」といったアナウンスになり、到達秒数は「およそ〇秒後に…」ではなく、「猶予が11秒以上の場合＝「まもなく…」・「猶予が10秒以下の場合＝「すぐに…」」といった表現でアナウンスされるようになります。
- ⑤「通信異常報知」  
「する」に設定すると、通信異常時にスピーカーから「ピコピコピコ…」と報知音が鳴ります。
- ⑥「深発地震の発報」  
「しない」に設定した場合は、震源の深さが150km以上の地震では発報しません。
- ⑦「気象庁一斉訓練の発報」  
「する」に設定すると、気象庁からの訓練報配信を報知できます。
- ⑧「音量」  
本体スピーカーからの音量を0～10で選ぶことができます。0の場合は消音となります。
- ⑨「発報震度」  
本製品から発報を行う震度を設定します。「3」と設定した場合には震度2以下の緊急地震速報を受信しても、アナウンスおよび画面表示はされません。
- ⑩「津波情報の発報」  
「する」に設定すると、津波情報を通知します。
- ⑪「噴火情報の発報」  
「する」に設定すると、噴火情報を通知します。
- ⑫「時報」  
本製品からつぎの時刻に時報アナウンスを行うことができます。「午前9時」・「午後0時」・「午後3時」・「午後6時」、またそれら時刻のそれぞれの組み合わせと、さらに「発報しない」を含む16通りが選べます。

### 【接点1発報設定・接点2発報設定】

本製品に接続されている放送設備（接点1）やパトランプなど（接点2）の機器からの発報に関する設定を行うことができます。「カーソルボタン」・「する／しないボタン」をタッチして設定してください。



- ①「発報震度」  
接続機器を起動させる震度を設定します。接点ごとに設定できますので、本体スピーカーは震度「2」に設定し、接点1では震度「4」、接点2では震度「3」で発報するように、といった設定も可能です。
- ③「訓練報の発報」  
前述の7項で説明する訓練機能を使った場合に、接続機器からも訓練報をアナウンスするか設定します。
- ⑤「噴火情報の発報」  
噴火情報を放送設備からアナウンスします（本体スピーカーの設定で噴火情報の発報を「する」にした場合のみ選択が可能になります）。
- ⑦「ブザー回数」  
放送設備の起動に時間が掛かる場合、アナウンスの前に鳴るブザーの回数を調節することにより、アナウンスの頭切れ対策ができます。
- ②「キャンセル報の発報」  
気象庁より緊急地震速報の取り消しがされた場合、接続機器から「地震速報を取り消します」というアナウンスを行います。
- ④「津波情報の発報」  
津波情報を接続機器からアナウンスします（本体スピーカーの設定で津波情報の発報を「する」にした場合のみ選択が可能になります）。
- ⑥「時報」  
本体スピーカーの発報設定で選択した時刻に放送設備からも時報をアナウンスします。毎日同時刻に鳴るため、鳴らない場合は放送設備側の異常などが考えられます。
- ⑧「接点保持時間」  
アナウンスが終了した後、接続機器の電源を何秒間つけたままにするか設定できます。

各種設定の変更後には、必ず「登録ボタン」をタッチしてください。「登録ボタン」をタッチせずに、「戻るボタン」をタッチしてしまいますと、変更内容が反映されません。

裏面へ続きます▶

つづき

つづき

つづき

## 7 PLUM法について

従来法とPLUM法とで予測震度を比較(両手法をハイブリッド)して、大きい方の予測を通知します。各手法ごとの画面上の表示と音声アナウンスは以下となります。

### 【画面表示】

緊急地震速報画面の“A”と“B”の箇所に表示されます。

	表示	説明
A	空白	緊急地震速報(予報)
	[警]	緊急地震速報(警報)
B	(従)	従来法(震源由来震度)
	(P)	PLUM法

### 【震度・時間表示／音声アナウンス】

従来法とPLUM法はそれぞれ、震度・時間の表示および音声アナウンスが下記のようになります。

	画面表示		音声アナウンス	
	震度	到達秒数	震度	到達秒数
従来法	する	する	する	する
PLUM法	する	しない※1	する	しない※2

※1=[--]表示になります。 ※2=[すぐに]と発声します。

PLUM法についての詳細は、気象庁のウェブサイトにてご確認いただけます。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/nc/plum/index.html>

## 8 訓練機能

本製品には3つの訓練機能がございます。緊急地震速報を受信したとき、どのように通知されるかシミュレーションすることができるほか、実際に地震が来たときを想定した訓練用としてご活用いただけます。

### 【1.任意設定で訓練】

緊急地震速報・津波情報・噴火情報を任意で設定いただき訓練することができます。【任意設定で訓練画面】にて『カーソルボタン』で設定を行ってください。『訓練スタートボタン』をタッチすると、訓練が開始されます。

以下の順に画面をタッチしてください。

①『設定ボタン』≫②『訓練ボタン』≫③『任意設定ボタン』

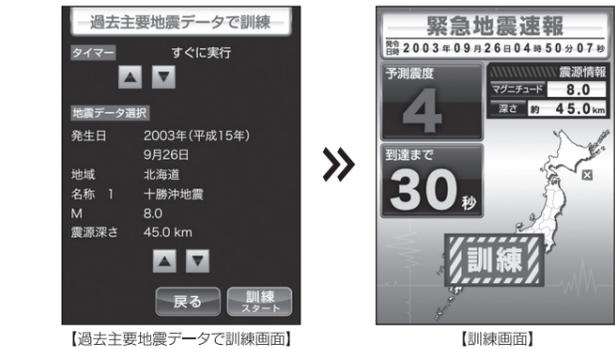


### 【2.過去主要地震データで訓練】

本製品には過去に日本で発生した大きな地震の情報が登録されています。その情報を利用して、ご登録場所にて何秒前に震度いくつの地震が来るのかをシミュレーションすることができます。【過去主要地震データで訓練画面】にて55件の地震情報からお選びください。『訓練スタートボタン』をタッチすると、訓練が開始されます。

以下の順に画面をタッチしてください。

①『設定ボタン』≫②『訓練ボタン』≫③『過去主要地震ボタン』

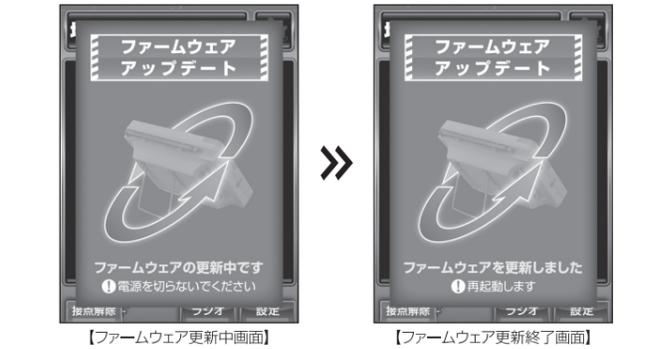


※ご登録場所(本製品の設置場所)によっては、予測震度が0になる場合があります。この場合、その過去主要地震を使つての訓練はできません。  
※予測震度が4以下の場合と5弱以上の場合では、発報音が異なります。  
※接点1の発報震度以上で訓練を行うと、放送設備からも音声が出てまいります。

**アツつき**  
※NHK音(緊急地震速報のチャイム音)はNHKの著作物です。  
※震度5弱以上で訓練操作を行った場合、冒頭にNHK音の訓練音(内容=「訓練」・「訓練」・「NHK音」・「これは緊急地震速報の訓練です」)と男性のアナウンスが入ります。

## 9 ファームウェアの更新

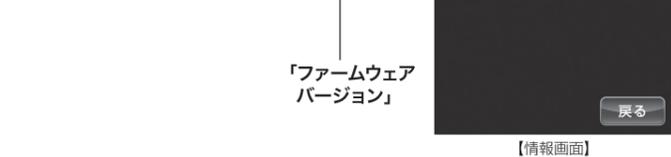
本製品は利便性の向上のために、不定期にファームウェアの更新を自動で行うようになっています。更新の画面が表示された場合には、そのままお待ちください。更新作業(約数十秒間)が終わると再起動します。ファームウェアの更新中は本製品を操作することが一切できません。



ファームウェアのバージョンは【情報画面】にて確認することができます。

以下の順に画面をタッチしてください。

①『設定ボタン』  
≡  
②『情報ボタン』



**注意** 万が一、ファームウェアの更新中に緊急地震速報・津波情報・噴火情報を受信した場合には、本製品から通知を行うことができません。予めご了承くださいませすようお願い申し上げます。

## 10 ログの閲覧

本製品では受信した地震情報や行った訓練の内容を、250件まで記録しています。この情報は【ログ画面】にて閲覧することができます。情報が250件以上になると古い順に削除されます。画面にはひとつずつ情報が表示されますので、『カーソルボタン』で操作してください。

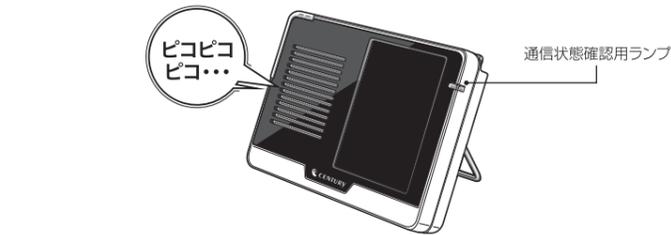
以下の順に画面をタッチしてください。

①『設定ボタン』  
≡  
②『ログボタン』

※ご利用のネットワーク環境によっては、250件保存できない場合があります。

## 11 通信異常の際の対処方法

本製品は緊急地震速報を受信するために、LANルーターを介して常にインターネット回線(ネットワーク)に接続されている必要があります。ネットワークに正常に接続されていない状態になりますと、本体右上の『通信状態確認ランプ』が赤く点灯し、スピーカーから“ピコピコピコ…”と報知音が鳴ります。



本体の故障や大きな地震が来る前兆などではありません。本製品が接続されているルーターからインターネット接続ができない状態ですので、ネットワーク管理者様やサービスプロバイダへご確認ください。

## 12 管理者設定画面について

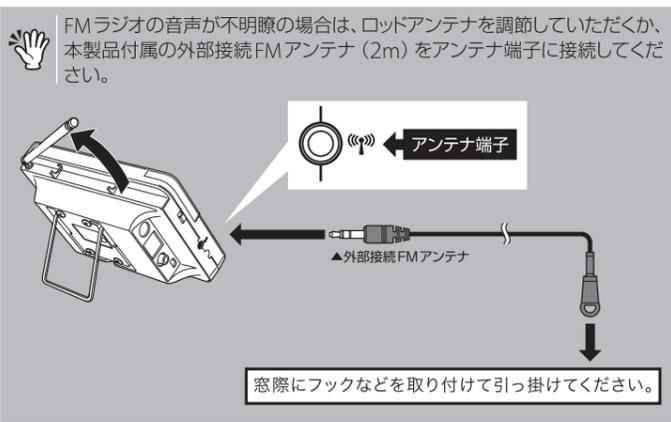
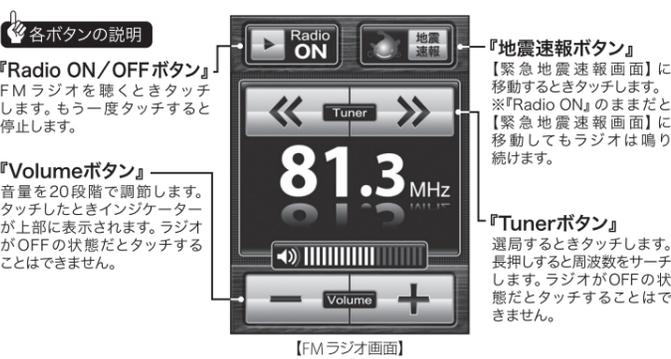
管理者設定の各項目につきましては、設置工事の際に弊社担当者が設定をさせていただきます。この設定を変更されますと緊急地震速報が受信不可になってしまうため、お客様による変更はできないようにしてあります。ご移動やネットワーク環境に変更がある場合は、再度設置工事が必要になりますので、お手数ですが17項に記載されております【緊急地震速報管理センター】までご連絡ください。



『端末ID設定ボタン』・『ホストサーバ設定ボタン』・『LAN設定ボタン』、それぞれにタッチすることはできますが、暗証番号の入力を求められその先に進むことはできません。

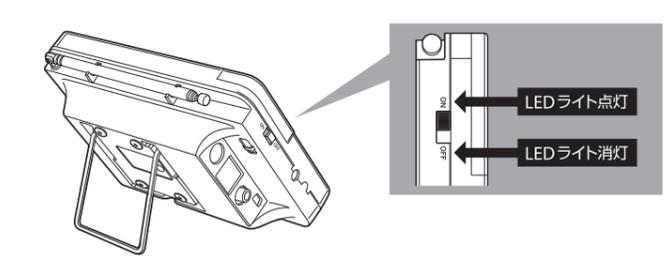
## 13 FMラジオの使用方法

本体背面のロッドアンテナを伸ばし、【FMラジオ画面】の『Radio ONボタン』をタッチしてください。



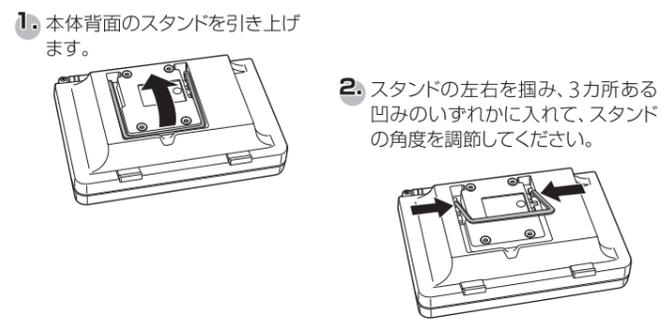
## 14 LEDライトの使用方法

本体側面のON/OFFスイッチを操作します。



## 15 背面スタンドの使用方法

台の上などに設置する場合は本体背面にあるスタンドをお使いください。



## 16 製品仕様

製品名・型番	地震の見張り番@school・JMB-AS_P
視野角	80°(上) / 80°(下) / 80°(右) / 80°(左)
LCD解像度	QVGA 240RGB×320
発色数	18bit-26万色
バックライト	LED
連続点灯時バックライト寿命	最低10,000時間(25℃にて、輝度半減を寿命とする)
音声出力端子	RCAジャック
接点出力端子	MINI-DINジャック・1a1b切替×2接点・各端子24V-200mAまで
外部アンテナ端子	3.5mmジャック
本体サイズ	幅146mm×高さ101mm×奥行39mm(スタンド収納時)
重量	約275g
消費電力	待機時2W・動作時最大5W
使用環境温度/湿度	0~40℃ / 湿度20~80%(結露なきこと)
VCCI	Class A 相当
設置方法	据え置き・壁掛け
LEDライト	2,500 mcd
ラジオ	FM 76~90 MHz

## 17 緊急地震速報に関するお問合せ

緊急地震速報・津波情報・噴火情報に関するお問い合わせ、設定変更ご希望の場合、設置場所移動の場合は、下記までご連絡をお願いいたします。

緊急地震速報に関するお問合せ ▶ 緊急地震速報管理センター

**0570-007817**

電話受付時間 午前10時~午後5時(土・日・祭日・年末年始を除く)

e-mailアドレス: [info-eq@century.co.jp](mailto:info-eq@century.co.jp) 24時間受付可。返信は電話受付時間内になります。

## 18 その他 製品に関するお問合せ

製品に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

製品に関するお問合せ

フリーダイヤル **0120-018-581**

または、03-5818-7049 電話受付時間 午前10時~午後5時

販売 **株式会社センチュリー**  
CENTURY CORPORATION  
〒110-0016 東京都台東区台東 2-28-5

・本取扱説明書の内容は予告無く変更する場合がございます。  
・本製品のパッケージおよび本取扱説明書に記載されている会社名や製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。